

第2回別海町自治推進員会 概要

開催日時：令和7年12月23日（火）午後1時30分から午前15時00分

開催場所：別海町役場 2階 201会議室

出席委員：大森和男、大橋正汰、佐藤瑠依、武田隆、棚橋昌博、中澤豊子、平澤珠美、
麻郷地聰、吉野朋博
(欠席委員 今井加奈、高橋智美)

<会議次第>

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - 議題1 意見書（素案）について
- 4 その他
- 5 閉会

1 開会

2 委員長挨拶

3 議事

議題1 意見書（素案）について

事務局から資料1及び事前提出のあった意見等をまとめた追加資料を配布し説明

大きく1から3と4つ目にその他として分類して記載している。

追加資料は事前に寄せられた素案に対する質問・意見等の内容である。

全体に共通することとして、各項目の「～に対する意見」は最初に意見書と記載あるため、削除しても良いと考えるという意見があった。

1 「情報の共有と情報の提供」

これまで協議してきた内容を、「具体例」として記載している。これらの必要不必要な点についても協議いただきたい。

【意見、質問】

委員

別海町もこれだけ広いので、定期的に各地域の発信した情報がまとまっている。

このような各地域の情報も病院や学校だったりの町の情報の他に共有されるものとしてあればもっと良いと考える。

2 「町民参加と推進方法」

2の（3）については事前の意見をいただいており、小中学校において、町を知る授業はすでにあることから、政策へのアプローチ、まちを動かす仕組みについてを知る授業などの展開としてはどうか。という意見があった。

それぞれの例を箇条書きにして記載してあった方が分かりやすいとの事から、この意見について、「例」として記載する方法も可能と考える。

【意見、質問】

委員

意見書の容量が大きくなってしまうため、箇条書での例示などは、実際に業務を行っている役場の職員が見てわかればよいのではないか。

3 「まちづくりと地域のコミュニティ」

【意見、質問】

委員

協力隊員などに地域への協力を求めたいが、どのようにして協力を仰げばよいかわからないため、そういった方法の情報共有も課題の一つと考える。

課題を地域でまとめるということもなかなか困難。

町内会における役員などの担い手不足等もこの問題の原因の一つかと思う。

事務局

自治基本条例 23 条の「町民は地域コミュニティの果たす役割を認識して～」というところをもう少し深堀しながら、コミュニティのあり方が本来どうあるべきなのかを考えたときに代表的な例は町内会と考えるが、もっと小さな団体も重要ということも意見書の中に盛り込んでもいいのではないかとも考える。

委員

全町的に議論していくべき共通の問題と思う。自治推進委員会だけでなく、町内会の組織等においても検討が必要と考える。

町内会における問題がどのくらいあるのかを役場において把握し、新たな仕組みや組織づくりを検討する場所を考えるべき。

リーダー不在も現在のコミュニティの課題と考える。人材育成のしくみも重要。

事務局

意見書への記載や今後さらに検討していく必要性があると考える。

4 「その他」

【意見、質問】

事務局

普段からの疑問や相談を相談できる窓口の必要性をここに記載している。

住民の疑問などを、まずはいったん「受け止める場所」として必要かなと考え 4. として記載したところである。

委員

その他と記載しているが、もっとも重要な項目と考える。

事務局

集落支援員等の制度の活用も考えられる。他の自治体の事例なども確認する。

<意見書について、資料を基に本日の委員の発言を整理して必要事項追記していく>

5 その他

事務局

第3回会議の日程調整を送付する（2月下旬での実施を予定）

次回は、本日の内容を基に事務局にて作成する意見書（案）について確認等を行う。

6 閉会